

8年生が 中学生給食選手権に参加

8年生は、毎年家庭科の学習をもとに給食の献立を作成し、「岐阜県中学生給食選手権」に応募します。今年度は、家庭科の学習だけでなく、ふるさと学習などで学んだ地域の魅力と現状を踏まえた献立を考えました。それぞれが出したアイデアを合わせ、村の魅力がたっぷりつまった献立を完成させました。

【応募献立】白川GO!給食 ～食から持続可能な村づくり～

麦ごはん
石豆富と結旨豚のみそ焼き
白川野菜畑の雪景色
秋の味覚汁
すったてのレアチーズ風
牛乳



【一次(書類)審査】

地区予選を通過し、本選に参加できることになりました。

審査員 講評

- 「村民学」及び「家庭科」での学びを連携させた献立からは、地域への理解や愛着の深さを感じる。地場産物の使用数が多く、持続可能な村づくりという、地域の基本コンセプトがよく表れており、食文化の伝承をしっかりとらえている点も評価できる。

【二次(実技)審査】

各地区の代表8校が、献立についてのプレゼンテーションと調理実技審査で競いました。

まずはプレゼン。さすがは地区代表、どの学校のプレゼンも、素晴らしいものばかりでした。緊張マックスで調理実技が始まりましたが、力を出し切り、協力して料理を仕上げることができました。



結果は、「岐阜県農業協同組合中央会会長賞」(県2位)。審査員の方々からも「おいしかった」「商品化してほしい」「白川村へ行きたくなった」と、好評でした。自分たちも改めて村の魅力を再確認できました。



他の学校の献立も、味見させていただきました。おいしかったです。

